

事業所名

放課後等デイサービス オタマじゃくし

支援プログラム（参考様式）

作成日

2025年

3月

31日

法人（事業所）理念		子育ては家庭を基本と意識した上で、利用児童と大人や利用児童同士が遊びや学びを通じて関り、家庭ではない安心できる居場所を提供することで、児童が穏やかな生活を過ごせるように向き合っていく。									
支援方針		障がい児の意思及び人格を尊重し、障がい児の生活に対する意向、特性を踏まえた支援を行う。									
営業時間		9時	30分	から	19時	0分	まで	送迎実施の有無	あり	なし	※応相談
支 援 内 容											
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・家族と安心して過ごすことが出来るように、家庭と連携を取りつつ、本人の心の支援を行います。 ・年齢の違う児童や大人と関わる中で、楽しく交流できる時間が出来るように、スタッフが間に入りながら環境を整備します。 									
	運動・感覚	レクリエーション活動等でスポーツを取り入れて企画し、児童達に能動的に参加を促すことで、スポーツを通じたコミュニケーションや運動の楽しさを感じられるように支援します									
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活をする上での認知の歪みや偏見に対して、本人の思いを尊重しつつ、別の側面について提案し、視野が広がるように支援します。 ・宿題や試験勉強等の希望に応じて学習支援を提供します。時間が足りない場合は家庭との相談をする中で、延長支援の実施を検討します。 									
	言語 コミュニケーション	本人の発達状況に応じて、他者との交流が楽しく行えるように安心できる環境を提供し、段階的な支援を行います。									
	人間関係 社会性	年齢の違う児童や大人と関わる中で、礼儀や距離感について指導を行い、より多くの人と関わり合えるように社会性の向上を促します。									
家族支援		必要に応じて、保護者の養育相談やきょうだい児の相談等に対して、面談、家庭訪問、電話等で支援します。				移行支援		就職活動や進学といったライフステージの切り替え時期に、本人や家族を含めて総合的に支援します。			
地域支援・地域連携		より本人の特性に基づいた支援が出来るように、相談支援事業所や学校との連携して、本人や家庭にアプローチします。				職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> ・スキルアップを目指した事業所内外での研修に参加できるように支援します。 ・防災訓練を定期的実施し、有事の際の意識向上を目指します。 			
主な行事等		初詣、ゲーム大会、スポーツ大会、夏祭り、ハロウィン、クリスマス等									